

磐城大衆新聞

毎月二回 一日十五日發行
定額 一冊十錢
廣告 一冊五十錢
發行所 磐城大衆新聞社
長谷川 兵衛
福島縣平町村木町
三十六番地

石城海岸雜種地

大藏省拂下決定

近く實測に着手す

各町村縁故拂下に反對

大藏省では石城郡下海岸の雜種の解釋から係争中であつた印紙地同省所管砂漠地整理拂下を斷問題は結局鐵道省側で規則の一を修正すればよい事に決定した。此の旨本縣内の福島電氣整理雜種地の拂下決定するや、好問、磐城炭礦、同海岸軌道、地元各町村には密かに猛烈なる運動を開始する者も現れてゐる。通知があつたが、一部規則の改正中にも此の雜種地には濱街道隨一の景勝地「新舞子」仁井田浦の砂濱地も含まれて居り、拂下が實現すれば當然是等景勝地も拂下となるので、万一景勝地が個人等に拂下されるやうなことがあつては折角の名勝も臺なしといふので、所在各町村では縁故拂下げに猛烈なる反對運動を開始した。

七十七銀行 平支店

東北一の天銀行、之れは七十七銀行である。七十七銀行は本縣下樞要の地に支店、出張所を有する。雖も徒らに社會の好景氣にさからはず、其の營業方針たるや頗る堅實にして従つて各銀行に行はれ安くない不良貸付の如きは夢だに見る事が出来ない。殊に昨今の財界の不況時代に於ては着實に進む銀行が堅實と云ふべきである。加ふるに七十七銀行平支店長山田勇太郎氏並に行員一同の協力奮闘以つて行務に激勵し、客に接して謙遜の念に富みつゝある。

五十嵐炭礦の切斷

怪事件内幕證據曝露

を近日中に糾弾されん

今や内郷村五十嵐炭礦の切斷事解決をして見ると云ふ。事件に件は平裁判所檢察局三笠檢察係關する投書を大歡迎する事を本にて取調中で、内容はすべて禁社は仄聞して居る、けれど某新止されて居るが、同事件の表面聞の如く本社は内容を徹底的にと内面とに關しては幾多各方面調査し以つて嚴正公平に報導しに取沙汰されて居る。或る某新讀者諸君に知らしむる事にした。聞の報導に曰く、實際某事件の内幕？は又平町某官衙某々の職務的〇〇等、その表面と内幕とを忌憚なく一般社會に提供し、反省を促すべきである、又推して反省を促すべきである、如何十四日午後一時平町石城團體事務所に開催満期による組合長選の結果安島重三郎氏再選した

安島氏再選

石城郡產畜組合代議員會は石城郡產畜組合代議員會は急務とする人なしとせず、實に然り、と雖も今日の狀態の研究と同時に今後の覺悟は今より圖らざれば或ひは盜人をとらへ繩

無根の嘘説を 或る醜團に流布され

杉山今朝吉氏の迷惑

兎角世の中は洋の東西と時の古をよるの感と同じ、依つて是亦今を問はず他人の隆盛を嫉むは急務と思慮せらる。就ては平町の世の常だと言ひばそれまでだが、随分世間には馬鹿者が多いのに痛切に實感した。一例を擧ぐれば最近白水の杉山炭礦に對し他の礦區を盗掘したとか、其れが爲め賠償金の請求を受けたとか、種々無根の噂を流布してゐる。徒輩があるが、清麗潔白な杉山今朝吉氏の人格から見ても、亦同礦長薄葉富保氏の性格から見ても、絶対に斯る事のあり得べからざる事は一般の認むる所であるが、某々等の醜團が頗る眞面目に斯る嘘説を流布してゐるには炭礦關係者は勿論一般より其の心事の陋劣なるには寧ろ愕然視されてゐる。

植田藝妓屋組合

幹部は對策を講究に腐心

植田町の花柳界は全く火の消えぬ寂しさで、一流の料理屋が現在の玉代未拂の滞納者が多く、斯くては生きて行けぬ状態であり、同組合では何等かの對策を行はんとして組合長初め数名が晝夜没頭されて居る、又此の不況が永久に續き回復の見込がないれば當然遊興税並に税金迄關係する事は勿論致し方がないと同組合長が語つて居る、同組合は七軒にして藝妓總数が三十名、一行事の玉代高が三百本乃至三百五本強であり、藝者一名玉賣上げが平均約十本以上にかかるとして居らないやうな有様で、此に財界の不況が深刻とは云へ、此の玉代では日常の生活すら出

自滅に瀕する

植田藝妓屋組合

幹部は對策を講究に腐心

植田町の花柳界は全く火の消えぬ寂しさで、一流の料理屋が現在の玉代未拂の滞納者が多く、斯くては生きて行けぬ状態であり、同組合では何等かの對策を行はんとして組合長初め数名が晝夜没頭されて居る、又此の不況が永久に續き回復の見込がないれば當然遊興税並に税金迄關係する事は勿論致し方がないと同組合長が語つて居る、同組合は七軒にして藝妓總数が三十名、一行事の玉代高が三百本乃至三百五本強であり、藝者一名玉賣上げが平均約十本以上にかかるとして居らないやうな有様で、此に財界の不況が深刻とは云へ、此の玉代では日常の生活すら出

自稱某礦長

頭末を曝露す

内郷村白水某炭礦の自稱礦長の罪惡を本社は忌憚なく次號に同事件の内容を徹底的に調査し以て罪惡の頭末を嚴正公平に報導す。彼自稱某礦長は九州の博多の某炭礦に在職中、某氏等と共に數萬圓の詐欺横領を動き逃走し來る事を本社は仄聞す、委細の頭末は次號より赤裸々に報導する考である。

大衆片々

▲郵貯利下げ愈々十月から斷行か？この政府治下では細民は浮ばれぬ。
▲農民の所得は半減、而も負擔は變らず、この事實を匡正せざる限り、農村問題の前途は暗澹か。
▲平の水道工事に失業群殺到す、救済事業として頗る適當な水道擴張委員の奪取のゴタ、町會で委員の決定迄は目がある、猛運動を開始せん。
▲議會すら無視して平氣である政府、農民の陳情彈壓等は朝飯前。
▲名案がないから、當分自給自足でやれと、政府農村を糺す子扱ひ、人一倍高い税金を取つてゐる癖に。
▲自給自足等といふ言葉は農民自身が口にす言葉、政府が農民にすゝめる言葉でない事を銘記せよ。
▲富豪の社會的自覺、目覺めぬのは政府當路者許り。
▲大の男一日の收入金僅かに八錢七厘、悲惨なる製灰者、其の慘狀は同情にたへぬ。
▲小學校教員給減俸に文部省が反對しても事實は着々實現するから困つた事だ。
▲内郷村杉山今朝吉氏が隣山の礦區を侵堀なして賠償金の請求を請けし如き惡宣傳をなす鼠的卑劣漢あるを聞く？全然事實無根なり？
▲犬糞の行動の某醜類一派を地上より葬らんとす、自己に反省を促かし一日も早く去るが賢明。

中元賣出し

各商店評判記

三井自動車部

呼電話八番

三井と謂ふ言葉が何んとなくブルデーア的に感ず、平町の三井家即ちブルデーアであるが、然し自動車部は、富吉、四郎の両君が主体となつて活躍して居る、四郎君は東京某自動車学校の先生を勤めた立派な獨特の技術者だ、勿論警視廳の甲種所有者である三井の「スター」實に乗り持ち好き事と警陽自動車界の所謂スターである、好漢兩君の幸福と發展を祈る。

西村屋藥舖

電話三番

平町二丁目西村屋藥舖は常磐地方を代表する大藥局で、老舗と知れて居る、店主藥劑師鈴木堅助氏は縣藥劑師會理事、警城藥業組合長、石城度量器組合長の重職にあり、圓滿なる常識の持主である、令息邦三郎氏が店務一切を擔當し多數の店員と俱に民衆化する營業に前進しつゝ、大黒屋勝次商店、夫れは小間物化粧品の大問屋である、同店の若主人は平商出身の秀才、沈着せる性格の持主、商略を代表せる人物、海岸線切つての化粧品販賣網クラブ化粧品共榮會の會長である、切に奮闘を祈る。

大黒屋商店

電話一六番

大黒屋勝次商店、夫れは小間物化粧品の大問屋である、同店の若主人は平商出身の秀才、沈着せる性格の持主、商略を代表せる人物、海岸線切つての化粧品販賣網クラブ化粧品共榮會の會長である、切に奮闘を祈る。

丸ほん

電話三五九番

平町の家具一般の製作販賣店である、第一者に自信して居る三丁目の中央街に其販賣店、製作所は月見町新田に廣大なる工場で優秀なる職工諸君の手に依つてドレス製出される、夏季の必需品即ち丸ほんの冷蔵庫は(丸ほん)製に限る、幸福と發展を禱る。

三井履物店

電話一五六番

平町二丁目三井履物店主三井文吉氏である、頗る親切で販賣するべき商品は、常に東都流行界の三井ファンを満足せしめつゝあるは、當に當代一流の然かも平町斯界の霸王である、切に發展を祈る。

大谷時計店

電話十九番

平町の銀座とも稱すべき中街、大谷時計病院と謂ひは何人も好くモダン時計店と知つて居るであらう、若主人武雄氏は時代の尖端を歩むに奇智を以て光明なる商業政策に依つて顧客が常に門前市を爲すの隆盛を呈しつゝ、吉氏である、頗る親切で販賣するべき商品は、常に東都流行界の三井ファンを満足せしめつゝあるは、當に當代一流の然かも平町斯界の霸王である、切に發展を祈る。

中元御挨拶

- 安島重三郎
- 高岡唯一郎
- 山崎與三郎
- 木村清治
- 比佐昌平
- 諸橋久太郎
- 橋諸元三郎
- 井上茂作
- 鈴木辰三郎
- 山崎吉平
- 野崎滿藏
- 小野普平
- 佐々木善作
- 山野邊東次郎
- 武田精一
- 關内正一
- 坂田藤助
- 柏原幸次郎

謹告??

近來本礦ガ隣山礦區ヲ侵堀ナシ賠償金ノ請求ヲ請ケシ如キ惡宣傳ヲナス鼠賊的卑劣漢ノアル事ヲ耳ニ致シ候モ全然事實無根ナルハ勿論要スルニ右ノ如キハ多年某主ヲ偽購シ私腹ヲ肥シ居リ候惡漢ガ積惡ノ報ニテ解職トナリシヲ怨ミ私怨ニ耐ヘズ犬糞的行動ヲ敢テスル某醜類一派ノ策動ニ有之候條寧口彼等ノ内心ヲ御洞察下サレテ憫然ノ輩ト御一笑ニ附シ被下度本紙ヲ通ジテ謹告仕候

杉山炭礦々長 薄葉富保